

ネギ黒腐菌核病に対する薬剤防除(春ネギ)

○春ネギ(3月～5月収穫)におけるネギ黒腐菌核病の感染時期と被害

本病は低温性の土壌病害(地温 10～20℃が発病適温)であり、春ネギ作型での感染初期は9月下旬頃です(図1)。春ネギの定植時期は7～9月であり、ネギの生育初期が感染・発病時期にあたるため、罹病による被害が大きく、無防除では腐敗・枯死し、収穫皆無になることもあります。

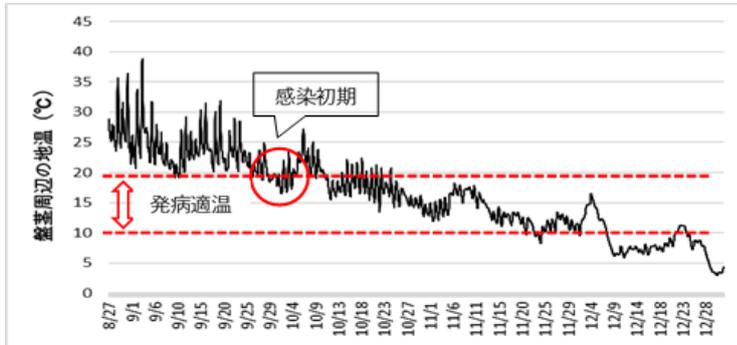


図1 ネギ盤茎部の地温と本病の感染期(2018)



甚発生圃場の無防除区(3月)
全て腐敗、枯死した

○春ネギ作型の薬剤防除2回体系

定植時に育苗トレイ灌注を行うか、9月上中旬に1回目の防除を行い、10月中下旬に2回目の防除(小菌核腐敗病の防除も兼ねて)を行う。

【防除例】

9月上中旬(1回目)	10月中下旬(2回目)
パレード20フロアブル 2,000倍、300ℓ/10a	パレード20フロアブル 2,000倍、300ℓ/10a

※パレードは黒腐菌核病、小菌核腐敗病に効果が高い



3月に収穫したネギ
(左、中央:薬剤防除区、右:無防除区)

○ネギ黒腐菌核病の薬剤防除の考え方・ポイント

1. ネギ根部が感染すると、被害が大きくなる。パレード 20 フロアブルを感染前に予防散布することで、防除効果は格段に高くなる(図2)。
2. 【散布方法】ネギの大きさに関係なく、農薬適用登録にある最大薬液量(パレードの場合 300ℓ/10a)を株全体に散布しつつ、株元中心に散布する。薬液量が多いので、キリナシノズル等を用いて散布する。

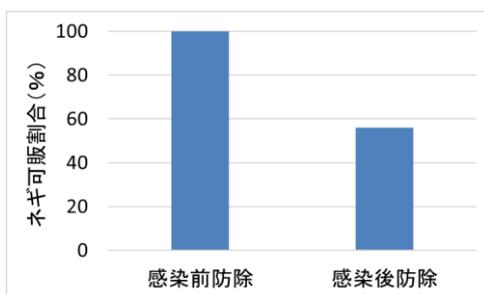


図2 防除時期が薬剤効果に及ぼす影響(2018)

感染前防除は9月21日、感染後防除は10月19日にパレード 20 フロアブル 2,000 倍、300ℓ/10a 散布した(1回のみ)。



薬剤散布の様子(左)、キリナシノズル(右)